

令和 7 年度 第 1 回 江東区みどりの基本計画推進会議についての ご意見とその回答について

日時：令和 7 年 5 月 29 日（木）10：00～12：00

場所：江東区文化センター 4 階 第 2、3 会議室

◆議題 1 令和 6 年度事業進捗について

主なご意見	回答
樹木の伐採届の実績について教えてほしい。	令和 6 年度は高さ 5m 以上の樹木として 786 本について伐採の届出がなされました。（うち 70 本が幹回り 60 cm 以上の樹木）
地域の特性を生かすために植栽が上手に活かされていると思うが、小さくてもいいのでどこかに今後の管理計画も明示されると、今後の経過観察もしやすいと思うがどうだろうか。柳井先生の仰る見える化につながると思う。	いただいたご意見を参考とさせていただき、情報発信の一環として検討してまいります。
学校ポケットエコスペース：ネットワークの拠点や異分野との協働においても教育・福祉分野が有力な候補と考えています。新設・既設を問わず学校ビオトープにおける整備・活用を支援する仕組みを拡充する可能性や課題について改めて教えていただけると幸いです。 身近な公園の防災機能の強化；着実に推進されている印象を受けました。災害時の水の確保について、雨水の活用なども検討されているのでしょうか。	現在策定中の生物多様性地域戦略においても PES については重要な役割を担うものとして認識されています。専門家による管理方法の指導など、部署の垣根を超えた取り組みについて検討を進めております。 公園によっては防火水槽等の設備が設けられていますが、災害時は原則的に広域避難場所等への避難を想定しているため、雨水の貯留施設については設けておりません。
たくさんの事業を実行、振り返りいただきありがとうございます。小学校改築事業ポケットエコスペースの設備についてですが、改築予定の学校がなかったために対象なしとなりましたが、改築のタイミングはいつもあるものではないと思うので、既存の学校への新規改築の提案があつても 良いのではと思いました。また、区民農園が砂町に新しく出来たことも、とても嬉しく思います。会議でも発言させていただきましたが、どう考えても商業、ビジネス視点からみても一等地である原宿のど真ん中に畑が出来たことはすごい事だと思います。“みどり”や“農”“食料自給率”に関心が高まっているこの時代、江東区では空き地が駐車場、タワーマンションになる場所をよく見かけますが、区民も協力しながら、みどりや農地に変わってくれたら嬉しいですね。	学校 PES についての拡充可能性等について今後検討してまいります。 新規開園した砂町区民農園をはじめ、今後も身近な農体験の場の提供について検討してまいります。

◆議題2 令和7年度事業計画について

主なご意見	回答
<p>緑を増やすための方策をグループ分けしているようだが括り方がなかなか難しいと思う。景観としての緑、日陰としての機能させる緑、コミュニケーションツールとしての緑、それぞれの役割をいくつかアイコン化して表示すればそのプロジェクトの緑の重要度が理解しやすいのではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 色分けにて、基本方針との対応を表現しておりますが、よりわかりやすい資料となるよう検討してまいります。</p>
<p>みどりの庭プロジェクト：ナチュラリストイクガーデンや多様な参加の仕組みなど、モデルガーデンとして、広く区民や他地区へと波及していくことを期待しています。その際、都市の生物多様性や気候変動適応（例：雨水の活用・浸透、暑熱対策）や脱炭素（バイオ炭活用によるCO₂固定）、資源循環など、多様な効果についても見える化していくと良いと考えます。</p> <p>公園マスター・プラン策定事業：区立公園自体の拡充を核にCIGを地域に広げる視点も重要と考えています。区立公園を起点として、周辺の公園緑地や公共施設のみどり、NPO・市民団体や企業などによるみどり活動などと協働したまちづくりへと波及・展開という観点についても可能な範囲でご検討いただけると良いと考えます。</p> <p>江東みどり百景：CIG魅力発信の手段として重要施策と考えています。推進会議であった参加型プロセスにも賛成です。公園や沿道、河川・運河といった公共空間はもちろん、マンションや学校、企業敷地、建物の屋上など、さまざまに潜在的な魅力の発掘により、官民によるCIGの普及展開にもつながる施策になることを期待しています。</p> <p>DX推進：イベントや活動の発信やみどりの魅力の見える化など発信が先行だと思いますが、その先には、区民の意見・アイディアなどフィードバックが得られる仕組みも検討の可能性があると思いました。</p>	<p>KOTOみどりの庭プロジェクトではみどりの持つ多様な効果について、わかりやすく周知してまいります。</p> <p>公園マスター・プランの策定にあたっては、周辺緑地との関係性についても可能な範囲で検討してまいります。</p> <p>江東区みどり百景では、参加型プロセスを導入し、さらにマップを活用した魅力発信の取り組みについても実施予定です。</p> <p>DX推進についてはフィードバックの仕組みについても検討してまいります。</p>
<p>ナチュラリストイクガーデン講座や、みどり街歩きイベントなど、過去に提案があったものが計画、実現されていて感動しました。スピード感のある対応をありがとうございます。役所関係のことは実現までにとにかく時間がかかるというイメージがあったのですが、（地域によってはそれが悩みになっていることがあるようで、友人からそのような話を聞くことがよくあります。）江東区のスピード感ある計画、実行力に感謝します。友人にも自慢しようと思います。</p>	<p>ありがとうございます。引き続き皆様の要望に沿った迅速な対応ができるよう取り組んでまいります。</p>

◆議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

主なご意見	回答
普通の会議ではなく体験型のコミュニケーションが良かった。そしてグリーンコミュニティ会議につながり、今後我々の緑のネットワークが広がり始めているのを感じる。	
グリーンコミュニティ会議をきっかけに、部会の活動成果が区内のさまざまな地域へ展開・発展していくことを期待しています。	部会に引き続き、グリーン・コミュニティ会議においても様々な主体の集まる場ならではの取り組みを進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。
部会活動おつかれさまでした。グリーンコミュニティ会議に昨日参加しましたが、これからがますます楽しみになるような会でした。みどりに関心のある人たちが集まり、考え、対話していく時間を作ってくださり本当にありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。	

◆議題4 (仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインについて

主なご意見	回答
会議でも話したが、樹木には本来の姿がある。ところがその樹形を無視した剪定がされている街路樹を見ることが多い。例えばイチョウなどがそれである。（江東区の範囲ではないかもしれないが）本来の樹形に近づけるのか、トピアリーを作るのか、樹名板に模式的な図をつけたら市民にも関心を持って見てもらえるのではないか。	ご意見ありがとうございます。各事業の展開にあたって参考とさせていただきます。
みどりと人が安心安全に過ごせるためにも必要なものだと思います。倒木の恐れのあるものなどは別ですが、例えば落ち葉への苦情から伐採することになった樹木については、焼き芋会や、落ち葉回収プロジェクト（コンポストに集めてもらい堆肥にする。また、落ち葉を持ってくると堆肥や花の種がもらえる）など、アイディアを考え、住民だけでなく、地域の子どもも一緒に参加することで、みどりを介したコミュニケーションの場が出来たらいいのではと思いました。	ご意見ありがとうございます。落ち葉を単なる邪魔なものと認識しないでいてもらうための取り組みとして参考にさせていただきます。

◆自由記載（補足など）

主なご意見	回答
<p>落ち葉のカーペットや新緑時の癒し効果などの、区民の声を聞くことができ参考になりました。</p> <p>公共施設に隣接する街路樹等においては成長していく過程で、施設エリアのインフラと接触してしまう事例もありますので、根回しの方法についての考え方などあれば、教えてください。落葉樹の葉が、屋根に落ち、樋を詰まらせる事例もありますので、あわせてお願ひいたします。</p>	<p>現状区ではまだ行えておりませんが、シートを設置することにより特定方向への根の伸長を予防する方法があります。一度伸長してしまうと問題になる場合には根鉢の確保等の関係で移植も難しくなるケースが多いため、予防措置をとることが大切であると考えています。落葉樹についても短絡的に常緑樹に置き換えるのではなく、夏は日陰をつくり、冬は葉を落として日向とする天然の調整機能を備えたインフラ設備として考えていくべきものと考えています。</p>
<p>以前仕事で各地のマンションを取材する機会があった。豊かな植栽のあるマンションは概してコミュニティがしっかりといる印象を受けた。周囲の環境に关心を持ち、管理が行き届いている。その上可能な部分だけでも自分たちで手入れする方法を教えると、植物を触る楽しみに目覚め、喜んで手入れをし始めた。植物を使ってのコミュニケーションは可能であり、CIGの推進に有効だと思っている。</p>	<p>江東区におけるマンションの緑化とそのコミュニティ醸成は、CIG 施策を進めるうえで非常に重要だと考えております。引き続き講座等の開催を通して、拡充を図ってまいります。</p>
<p>区民として、何か活動、連携が出来ないかを考えた時に、例えば私の存在ですと、現在、子供の小学校 PTA 本部 役員をしているのですが、学校では PTA との連携も出来たらいいのではと思いました。PTA に関しては、昨今、共働き家庭が増えていることから、賛否両論ありますが、地域や子供のために何かしたい、と考える親も少なからずいます。そうした時に、ベルマークの回収以外にも出来ることがあるのではと思います。例えば、学校コンポストの設置や、ポケットエコスペースの管理など。ちなみに私は PTA をきっかけに、まだベルマークは存在しているんだ、ということを知り、実際に何枚か見つけてそれを切って、学校へ提出しました。完全にトットラップダウン方式ではありますが、みどりのことを知ってもらったり、活動するには手っ取り早い方法かもしれません。現在、PTA 活動は変革期でもあり、学校によっては活動を縮小したり、今まであった部の名前を成人部を SDGs 部 に、児童部をイベントサポート部に、など、名称をわかりやすく変える学校もあります。そんな中にみどり部があっても良いのではないかと思いました。引き続き、自分たちに出来ることを考えていければと思います。ちょっとしたアイディアでした。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。CIG 施策を進めるうえで、既存の活動に相乗りするような形で情報を発信していくこと、取り組みを推進していくことは、効率面からも重要なことだと考えています。</p> <p>部署・分野をまたいだ連携の方法についても今後検討してまいります。</p>